

東京国際空港国際線旅客ターミナルは 平成28年度エネルギー管理優良工場等 関東経済産業局長表彰を受賞しました



弊社は、本年2月7日、経済産業省 関東経済産業局が実施する表彰制度において、「平成28年度 エネルギー管理優良工場等」として表彰を頂きました。

弊社は、東京国際空港（羽田空港）において、国際線旅客ターミナルビルの管理・運営を行っておりますが、国土交通省航空局が掲げている『エコエアポート・ガイドライン』に基づき、環境に優しい旅客ターミナル作りに取り組んでおり、省エネルギー対策として、様々な省エネルギー技術を導入しております。

この度の表彰は、平成26年度に実施した空調機のインバーター制御（※1）設定値見直しにより、原油換算一次エネルギー消費量を年間約800kL削減したことを含め、省エネルギー設備の導入や運用改善対策について評価を頂いたものです。弊社は開業以来、継続的に環境負荷軽減対策に取り組んでおり、今後もターミナルビルにおけるお客様の安全性・快適性の追求と低炭素社会への貢献を目指し、より一層の努力を続けてまいります。

※インバーター制御：空調負荷の状況に合わせて、空調機のモーターに加える電力の周波数を最適にコントロールし、モーターの回転数を可変させる制御方式です。一般にモーターの消費電力は、周波数の3乗に比例するため、機器に影響がない範囲で周波数を下げることにより消費電力量の削減が出来ます。